

普及活動情勢報告（令和元年12月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

新規就農者の確保に向けて～高知くらしフェアでの就農相談会の開催～



11月30日、12月1日、農業改良普及課は、大阪、東京で開催された「高知くらしフェア」で香美市の移住担当部署と連携し、香美市就農相談会を開催しました。

県外からのIターン就農者の確保には、移住部署との連携が不可欠であるため、就農相談を通して香美市の移住部署やNPO法人とも様々な情報共有を行い、産地の受入体制の充実を図ることが出来ました。

普及課では、今後も産地の受入体制強化や担い手の確保・育成に向けた産地の話し合いを支援していきます。

ニラをたくさん取るには？ ～「グリーンカレッジ」が研修会開催～



11月29日、JA高知県香美地区ニラ部会の若手勉強会であるグリーンカレッジが視察研修を行い、若手生産者9名と研修生1名が参加しました。農業改良普及課は研修内容の企画、実施を支援し、今回は農業担い手育成センターで施設ニラの実証試験について説明を受けました。参加者からは、育苗日数や換気、抽だいに関する質問が多く出され、今後の栽培に生かそうという意気込みが感じられました。また、香美地区のニラの新規就農者確保に向け、意見交換を行いました。

農業改良普及課は、関係機関と連携し、若手生産者の収量向上・経営安定に向けた支援を継続します。

山間地域の新たな取り組み！ ～加工用ワサビの試験栽培～



香美市の山間部は青果用ユズの栽培が盛んですが、収入の得られる期間が限られ、農閑期の補完品目が求められています。そこで今年から、5戸のユズ生産者が加工用ワサビの試験栽培を始めました。

12月18日、農業改良普及課はJAとともに市内の栽培ほ場を巡回し、生産者に栽培管理指導を行いました。

生産者からは、「虫食いがあるが防除はどうしたらよいか」等、積極的に質問がありました。

農業改良普及課は、今後も定期的な巡回を行い、加工用ワサビの安定生産に向け支援していきます。

高知農業高校で出前授業を行いました



12月16日、農業改良普及課は、高知農業高校において出前授業を行いました。出前授業は生徒に農業への関心を深めてもらうため毎年行っており、今年は南国市のIターン農家から独立就農までの道のりと現状について、(株)南国スタイルから次世代型ハウスと雇用就農について紹介してもらいました。学生からは「農業も休める時期があると知ってイメージが変わった」など前向きな意見が多く聞かれました。

農業改良普及課は、出前授業の目的を講師、高校と共有し、生徒に伝えて欲しい内容の事前確認等を行っており、これからも担い手の確保・育成を支援していきます。

品質向上で選ばれる産地へ！トルコギキョウ目慣らし会・現地検討会



12月12日、JA高知県香美地区トルコギキョウ部会は目慣らし会および現地検討会を開催し、延べ25名が参加しました。

農業改良普及課からは、生育調査データに基づいたかん水や温度管理の改善、環境制御技術導入農家のハウス内環境について情報提供しました。生産者からは「栽培が難しい時期だが、天候に合わせた温度管理で品質を上げていきたい」等の声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して産地の維持・拡大や、生産性の向上を目指して支援していきます。

JA 高知県南国市園芸部シシトウ部会が現地検討会を開催



12月13日、JA高知県南国市園芸部シシトウ部会は現地検討会を開催し、生産者11名が参加しました。

農業改良普及課からは、仕立て方法や炭酸ガス施用効果の状況、厳寒期に向けたかん水や温度管理等について情報提供しました。生産者からは「他の農家は炭酸ガスをどのくらいの濃度で施用しているのか」「L3葵ししとうの収量や品質、生育などはどのようなものか」等の声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して産地の維持・強化を目指して支援していきます。